

大妻模擬国連 初心者ガイドブック

# MUN Guidebook for Beginners



作成： 大妻模擬国連 2020 年度卒業生有志

監修： 大妻模擬国連顧問 関 孝平 先生

## 目次

はじめに		3
Chapter 1	<b>模擬国連って何？</b>	
1-1	模擬国連って何？	4
1-2	国連について知ろう	5
1-3	SDGs -Sustainable Development Goals	7
Chapter 2	<b>模擬国連会議の概要</b>	
2-1	会議で何をするのか	9
2-2	会議のゴール	11
2-3	交渉の流れ	13
Chapter 3	<b>会議参加ガイド</b>	
3-1	会議の種類と流れ	14
3-2	スピーチ	16
3-3	メモ交渉	17
3-4	決議案： DR (Draft Resolution)	17
3-5	DR 投票	18
参考資料		20

### 補足

この冊子は2021年3月の「SDGs 弁当会議」の際に作成したものです。一部お弁当会議を想定とした記載がありますが、具体例があったほうが分かりやすい部分は、修正せずにそのまま掲載しております。

## はじめに

大妻中学高等学校 卒業生代表 田中 萌絵

「模擬国連？何それ。難しそう」私が初めて模擬国連という言葉聞いた時に最初に思ったことです。周りの友達からよく話は聞いていましたが、5回聞いても何をしているのかさっぱりわからず、難しそうという印象しか残っていませんでした。私が模擬国連を始めたのは高2の6月からです。始めたきっかけは正直記憶に残っていないくらいちょっとしたことです。今では会議を開くほど模擬国連のとりこになってしまいました。というのも、自分が井の中の蛙であることを思い知らされたのと同時に今までにはない高いレベルの刺激と触れ合えたことに楽しさとワクワク感を覚えたからです。ここまで文章を読むとある種の変態高校生みたいになっていますが、模擬国連を経験したことがある人のほとんどが経験する感情です。今回会議を開いたのはこの経験をぜひ大妻の皆さんに感じてもらいたいと思ったためです。変態になれとはいいません。少しでも楽しい、ワクワクするという気持ちを味わっていただければ嬉しいです。

### ～ あるメールに込められた思い ～

私は模擬国連を始めた時に自分がこんなに続けるとは思ってもいませんでした。昨年、全日大会で優秀賞を取った先輩と組ませていただき、その時から模擬国連へのイメージが変わり、同時に模擬国連の過酷さも感じました。そこからは新型コロナもあり、十分に会議経験を積むことができず、今回の全国高校教育模擬国連(AJEMUN)にオンラインでの参加となりました。

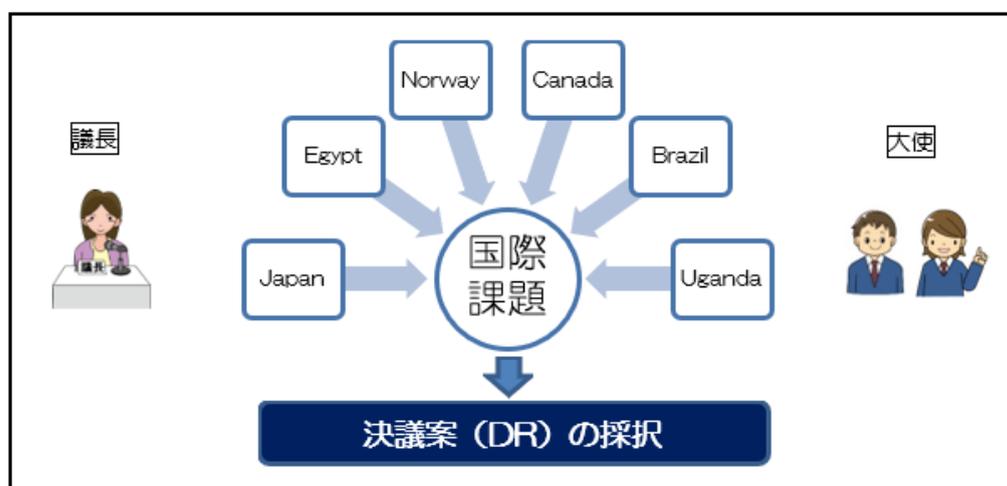
今回のAJEMUNが私の最後の会議ということで、これまでの努力をどうしても成果として残したいと、初めから賞を意識しすぎていました。そのため、直前は過剰な緊張に押しつぶされそうになって、とても辛かったです。先輩に教えていただいたことを今回は私が一緒に組む後輩に教える立場になるということが新鮮でした。最初はむしろ私が後輩の足手まといにならないか不安でいっぱいでしたが、少しは後輩をリードできたのではと達成感を感じております。会議回数は決して多くなく、短い模擬国連活動でしたが、模擬国連が私にもたらした影響は計り知れません。

今回で、私の模擬国連は一旦終わりましたが、また模擬国連に関わりたいと願っています。模擬国連を通じて、悔しさや発見、成長を感じることができました。私を模擬国連に出会わせてくれて、そして賞を取れるくらいにまで成長させて下さり、本当にありがとうございました。

## Chapter 1： 模擬国連って何？

### 1-1 模擬国連って何？

最近よく耳にするようになった模擬国連。聞いたことはあるけど実際どんなものかは知らないという人も多いのではないのでしょうか？模擬国連とは、言葉通り「国連を模擬する」ということです。簡単に言えば、私たちが「ドイツ大使」、「ケニア大使」といったように世界各国の大使になりきり、国連会議をモデルにして、各国の立場から議論したり、解決策を考えたりする活動です。英語では Model United Nations（モデル国連）と言われ、MUN と略されます。ちなみに、模擬国連に参加する生徒は親しみを込めて「モギコッカー」と呼ばれます。



なお、模擬国連には以下のような大会があります。他にも多くの会議が開かれています。

#### 全日本高校模擬国連大会（全日大会）

11月に行われるトップレベルの大会です。

受賞者はNYで行われる国際大会に日本代表として派遣されます。

#### 全国高校教育模擬国連（AJEMUN）

8月に行われるもう一つの全国大会（2020年度は1月にオンラインで開催）で、教育に重点を置き、広く参加者を募る。



### ～ 模擬国連の歴史：History of Model United Nations ～

この模擬国連、実は約100年の歴史を持っています。1923年にアメリカのハーバード大学で始まりました。今の国連が作られたのが1945年ですから、その前の国際連盟「League of Nations」の時代から行われていたのです。日本では、UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）でトップを務めた緒方貞子さんが、上智大学教授時代に、ゼミ生たちとともに育てていきました。近年では、中高のグローバル活動や授業の一環として模擬国連が行われることも増え、模擬国連の価値が広く認識されています。

## 1-2 国連について知ろう

### 国連の成り立ち

国連はいつできたか知っていますか？そう聞かれるとぱっと答えられないものです。1945年10月です。国語の教科書や戦争ドラマで、例えば、相手国の空襲が始まったとき、「連合軍が来たぞ！」と言って、部屋の電気を消すといったようなシーンを見たことがありますか。もしくは大本營の会議で「連合軍は…」みたいなセリフで聞いたことがある人もいるかもしれません。この連合軍こそ「国際連合」の実質的な前身です。

構想自体はもっと早くに始まっており、1941年8月にイギリス首相のチャーチル、アメリカ大統領フランクリン・ルーズベルトのトップ会談で協議されていました。1945年6月のサンフランシスコ会議で国連憲章が起草され、終戦後の同年10月24日、加盟国51か国で正式に発足しました。

このように国連は第二次世界大戦を経て発足したので、国連には戦中戦後の世界事情がそのまま反映され、75年以上経った今でも変わっていない部分があります。その典型が安全保障理事会の構成です。常任理事国はアメリカ、イギリス、ソ連、中国、フランスという当時の大国が占めています。この5大国が互いに対立を避け、足並みをそろえて協調していくことが戦後の混乱を収束し、世界平和を実現するための絶対条件だったからです。なお、51か国でスタートしたこの国連、いまやその加盟国も193か国に増えました。



F.ルーズベルトとチャーチル

### ～国連憲章に託された平和の願いに触れて～

*WE THE PEOPLES OF THE UNITED NATIONS DETERMINED to save succeeding generations from the scourge of war, which twice in our lifetime has brought untold sorrow to mankind*

(われら連合国の人民は、われらの一生のうちに二度まで言語に絶する悲哀を人類に与えた戦争の惨害から将来の世代を救い)

これは国連憲章の冒頭文です。二度の戦争とは言うまでもなく第一次世界大戦、第二次世界大戦を指します。残酷な戦争が生命、権利、尊厳、自由を奪い、人と世界を破壊していく様子を目の当たりにし、二度と戦争を後の世代に経験させてはならない、そういう平和への強い思いを持って、国連は設立されました。

その平和の誓いは、戦争終結後いきなり米ソ冷戦という試練に遭遇し、その後も多くの戦禍に見舞われました。75年たった今もこの憲章の願いはいまだ果たされていません。しかし、だからこそ、私たちは国連憲章の思いに立ち戻り、先人の願いを改めて引き継ぐことが大切なのではないのでしょうか。現実的には平和に程遠い75年でしたが、その尊い願いと理念は今でも私たちが目指すべきものであるはずです。模擬国連を通して、次の世代を担う生徒の皆さんがその願いに触れ、動き、考えてくれれば、この世界は少しだけ豊かになるのかもしれない。

## 国連総会と6つの委員会

国連の会議で最もよく知られているのが国連総会です。国連総会とは193か国が総会議場に一堂に集まる全大会です。英語ではGeneral Assemblyと言います。総会は、毎年9月の第3火曜日に始まり、各国首脳や大使がニューヨークに集まり、演説を行い、そして100以上の議題について議論をし、決議案の採択を行います。総会では、国の大きさや経済に関係なく、各国が等しく1票の投票権を持ち、多数決によって決議が行われます。



国連総会議場

総会は、テーマによって6つの主要委員会に分かれています。また、その他にも食料はFAO、保健衛生はWHO、難民はUNHCRといったような専門機関もあります。

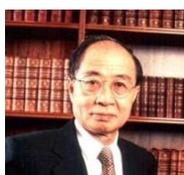
設定会議	担当分野	議題の例
総会本会議		安保理改革、気候変動
第1委員会	軍縮、安全保障	核軍縮、安全保障、地雷除去
第2委員会	経済、金融	環境問題、エネルギー安全保障、移民
第3委員会	人権、人道、文化問題	ジェンダー、児童労働、人種差別、クローン
第4委員会	特別政治問題	PKO、パレスチナ問題、宇宙空間の平和利用
第5委員会	行政、予算	国連経費の分担率、予算、PKO 財政
第6委員会	法律	国際法、国際テロリズムの廃絶

## 国連で活躍した・する日本人



### 緒方 貞子さん

難民保護の専門機関 UNHCR で1991年から2000年まで10年間、日本人で初めてトップを務めました。「小さな巨人」と呼ばれ、絶大なリーダーシップを発揮し、難民保護に大きく貢献しました。



### 明石 康さん

1957年に日本人初の国連職員となり、国連のナンバー2にあたる事務次長や事務総長特別代表を歴任し、カンボジアや旧ユーゴスラビアで平和維持活動（PKO）に従事しました。



### 中満 泉さん

2017年から現在まで、国連ナンバー2にあたる事務次長を務めており、国際和平にその手腕を発揮しています。2018年のフォーチュン誌では「世界の最も偉大なリーダー50人」に選ばれました。



### 星野 俊也さん

元大阪大学副学長で、2017年から3年間、国連日本大使ナンバー2の次席常駐代表を務めました。緒方貞子さんの教え子で、模擬国連を育て、日本各地に根付かせていきました。

全国高校教育模擬国連（AJEMUN）の開会式などで、中満さんから参加大使にビデオメッセージが送られたり、星野さんの基調講演が行われたりします。これらの方々も日本の模擬国連を今でも支えてくれています。



みなさんはこの図を見たことがありますか？今、国連だけではなく、あらゆる活動においてこの SDGs (Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」) というのが重要なコンセプトとなっています。SDGs は 2015 年の国連サミットで採択されました。2030 年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標で、17 のゴール、169 のターゲットから成っています。

それ以前は、MDGs (Millennium Development Goals「ミレニアム開発目標」) というものが共通の開発目標でした。しかし、MDGs は「量」や「数」に目を向ける側面が強く、例えば、「全ての人々が教育を受けられるようにしよう」と言ったとき、教室環境が整っておらず、質が伴わなくても就学率が上がれば目標達成でした。MDGs はかなりの成果を上げたという報告がありますが、一方で、格差が残り、弱い人たちが置き去りにされてしまったという反省も残りました。そこで、根本的な課題解決に向けてもう一歩踏み込もうと、2015 年、国連は SDGs とし新たな開発目標を採択しました。

SDGs は「質」を求めるゴールです。全ての人々が豊かな人生を歩み、人として尊敬され、平和に安心して暮らせることを目標にしています。そして、国だけでなく、企業や NPO、そして私たち一人一人にまでに意識と行動の改革を求め、みんなで「持続可能な社会」と「誰一人取り残さない世界」を作ろうと目指したものです。SDGs は私たち一人一人に訴えているのです。未来を担う私たちが、まずは「一人残らず」世界と未来を思い、できることから実践していく、それが SDGs の成功の第一歩なのです。

### ～ 国連の存在意義～

「国連は万能じゃありません」、そう発言したのは、『国連を読む』の著者、元政務官の田氏です。国連の存在意義、役割は何か。彼曰く、各国に対話の場を供給していることがその1つだということです。国連には193の国が加盟していますが、その大半は人口1000万人以下で、資金がない国が大半です。日本の首相が外遊して、いろいろな国でトップ会談をしていますが、ほとんどの国はそれをする財政的余裕がないわけです。しかし、9月第2週、国連総会が開会される際には、ほとんどの国の首相、大統領、外相といった国を代表する要人が国連本部で一堂に会し、会談、会議、交渉が行われていくのです。田氏はその姿が国連の存在意義の1つを象徴していると言います。

確かに国連は万能ではない。大国主義的な部分が否定できないところもあるかと思えます。課題も山積していますし、悪い部分、不十分な部分もあるでしょう。しかし、上述のとおり、経済格差に関わらず各国が対話する機会と場所を提供しているということはそれまでの歴史を見ても画期的なことです。しかも国連総会では、国の大小、人口、経済規模に関わらず1か国が等しく1票を持っています。決議や対話では解決できない問題も現実には多くあり、会議では意見が真正面からぶつかっていくわけですが、それでも銃口を向けあって戦うよりはよっぽどマシなのです。

しかも、国連の予算はPKOの分を計上しても年間1兆円程度です。これは世界の軍事費の0.6%の金額です。東京オリンピックの実予算が3兆円とも言われているので、実にその3分の1にしか満たないのです。国際平和を担う世界的組織の予算がこれだけというのは、軍事費とのバランスを見ても、多くの人が驚くのではないのでしょうか。その点について、田氏は著書の中で「確かに国連は万能ではいし、改革が必要な分野も多々ある。しかし、国連が国際社会の平和と安全の維持、あるいは人権、人道、開発などの分野で果たしている役割を考えると、国連は国際社会にとってまだまだ有益な投資なのではないだろうか」(P71)と述べています。

## Chapter 2： 模擬国連会議の概要

### 2-1 会議で何をするのか

模擬国連で、大使がすることは大きく2つあります。

- 1 スピーチで、国際社会に自国の考え方、政策を表明する。
- 2 他国と協議、交渉しながら、決議案を作成する。

国連会議でよくニュースなどで流れるのは、大統領や大使がスピーチをしているところです。毎年9月下旬に行われる一般演説は、国連総会の開幕を飾る晴舞台で、各国の首脳が集まり10日間ほどスピーチを中心に国際外交が展開されます。

しかし、スピーチだけで国際外交はできません。スピーチはあくまでも国連の表の顔みたいなものです。裏の舞台では、非公式な会議が行われます。他にも、廊下外交（Lobbying）と呼ばれる通り、廊下やロビー、ランチ、夜のレセプションを含めて、色々なところで実質的な交渉や対話が行われています。これが国連会議の裏の顔、実質的な議論です。

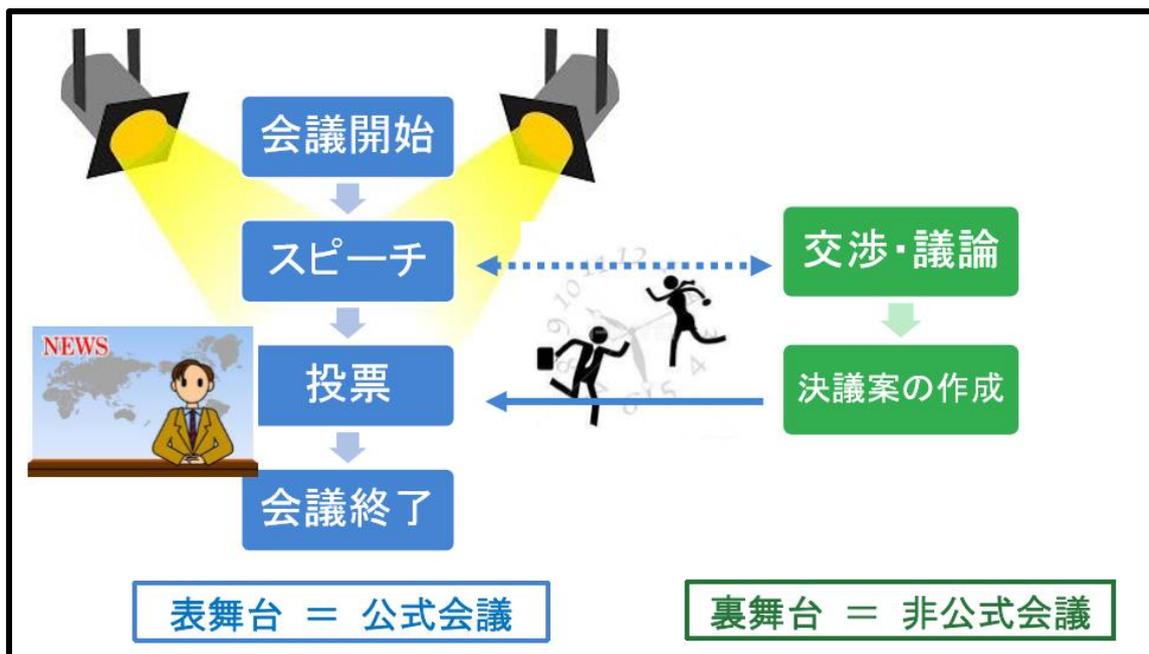
#### 表舞台： 公式討議、スピーチ、投票



#### 裏舞台： 決議案作成、ロビー外交、交渉、根回し



模擬国連も同じです。スピーチは表舞台を再現し、非公式会議は裏舞台を再現しているのです。公式会議も非公式会議も1つの流れの中で行われているので分かりづらいですが、表舞台のスピーチと裏舞台の交渉・決議案作りを行ったり来たりしながら交互に再現していきます。



### ～ 模擬国連基礎知識： フロントとは ～

フロントは、会議監督、議長など会議運営スタッフで国連事務局の役目を果たします。

- 会議監督 (Director) :  
議題を決め、議題解説書を作成し、会議の流れや方針を決めていくなど、企画から運営まで「会議を作る中心」になります。
- 議長 (Chair) :  
議場をまとめる司会進行を行います。プロシージャと呼ばれる会議ルールをもとに議場全体を整理し、各大使の参加を促します。
- 秘書官 (Secretary) :  
会議監督、議長の補佐として決議案チェックや議事録の作成などを行います。
- アドミニ (Administration Staff)  
メモ回しや DR 配布、印刷物の用意などの運営の手伝いを行う係です。



## 2-2 会議のゴール

何のために会議をするのか？国連会議ゴールは、ずばり「国連としての決議を出すこと」です。今回の会議では、国連総会の場で「こういうSDGs 弁当を作ろう」という案を作り、投票して、それを採択します。国連総会の決議には法的拘束力がありませんが、国連という場で採択された以上、当然大きな影響力を持ちます。実際にはソフトロー（Soft Law）と呼ばれ、国際規範として機能します。もちろん拘束力や罰則がないからといって簡単に破ることもできず、逸脱する行為は国際社会の非難的になってしまいます。

したがって、各国の大使は自分たちが従えないような決議や自国にとって不都合な決議を通すわけにはいきません。国際社会全体の利益（国際益）を達成するとともに、国民の代表として自国の利益を守る責任があるのです。



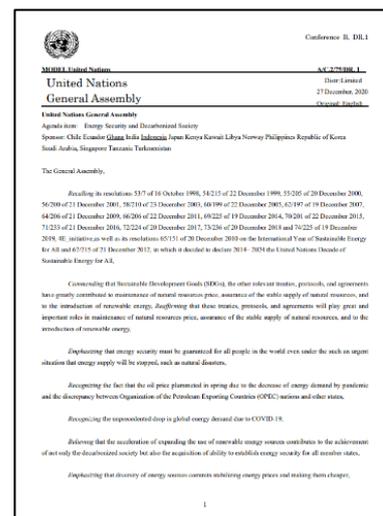
### 決議案：DR (Draft Resolution)

決議案をDR (Draft Resolution) と言います。DRは1か国だけでは提出できません。例えば「スポンサー条件は5か国」あれば、最低5か国が合意して提出国としてサインしていることが決議案を提出する条件になるということです。

国連会議では、提出の締め切り時間まで各国と交渉して、決議案を作ります。そして提出された決議案を投票にかけ、過半数以上の賛成があれば「決議」として採択され、国際社会に表明されます。

### DR スポンサーの責任

DRのスポンサーになったら責任が生じます。「自分のDRグループを抜きたい、他に移りたい」、「別のDRのスポンサーも兼務したい」、「自分のDRに反対をしたい」と言う大使がいます。これらは全てダメです。スポンサーはDRを提出した国として最後までそのDRに責任を持ち、投票でも賛成をしなければいけません。これは当然のルールであり、自ら反対票を投じるようなDRなら何のために提出しているのか、ということです。最後まで自分のDRに責任を持ち、また責任を持てるように国益を守りながら交渉をしましょう。



## 2つのミッション — 国益と国際益

皆さんは2つのミッションを背負っています。1つは、その国の大使として自国の利益を守るということです。2つ目は、国際社会の一員として、「世界平和、より良い未来を築きあげていく」ということです。みんなで国益をぶつけながらも、交渉をして、「国際社会全体の平和と利益」を達成できる決議を採択しなくてはなりません。

国益だけを考えると他国からの賛成を得ることが出来ず、結果的に自分たちの意見を通すことが出来ません。かといって、国際益ばかりに注目しすぎて国益を一切考えていないとなると大使としての役割を果たせていません。国益と国際益をどのように両方達成するのか、それが難しいところですが、それが醍醐味でもあります。

国益だけを考えると他国からの賛成を得ることが出来ず、結果的に自分たちの意見を通すことが出来ません。かといって、国際益ばかりに注目しすぎて国益を一切考えていないとなると大使としての役割を果たしておらず、外交としては失敗です。つまり、両方を兼ね備えた政策を考える必要があります。

<国際益と国益の例：SDGs 弁当会議を例に>

<b>国際益</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 世界のみんが幸せに食べられ、国連全体の収益が上がる弁当になる。</li><li>2. このお弁当によってSDGsが促進でき、「より平和な世界」が一步達成できる。</li></ol>
<b>国益</b>	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 自国の文化や食料事情にマッチしたお弁当になる。</li><li>2. 自国の農産物、畜産物を多く使える弁当になる。</li><li>3. 自国の国民が食べられ、好きになってくれるお弁当にする。</li><li>4. 自国で売れ、利益が出るお弁当にする。</li><li>5. 自国の食文化を世界にアピール、発信できる。</li></ol>

### ～ 大使としての自覚 ～

大使は国の代表です。大使の後ろには、何百万、何千万、場合によっては億単位の国民がいるわけです。会議の結果はどうあれ、その国民に恥じない行動ができたか、胸を張って国に帰れるのか、ということです。なかなか模擬国連だと自国の国民の姿、生活の様子を思い浮かべることができませんが、本当は、その国は自分の生まれ故郷であり、自分の思い出があり、家族や友人がいる場所なんですよ。大使はその故郷のため、そして国民のために会議に参加している、そんなイメージを持つと大使としての責任を双肩で感じることもできるのではないのでしょうか。

ある会議の終わりに「服装から正しなさい」と参加者全体に注意をしてくれた先生がいました。「皆さんは国の代表として国際会議に参加しているのです、その代表として恥じない服装をしていますか」と。まさにその通りです。大使の質を判断する基準は、内容云々、結果云々の前に、まずは「この大使の国の国民になりたいと思えるか」という基本姿勢です。「この会議が自国でテレビ中継された時、自分の姿を国民に見せられるのか」、そういう意識と責任を持って会議に臨むと有意義ですよ。

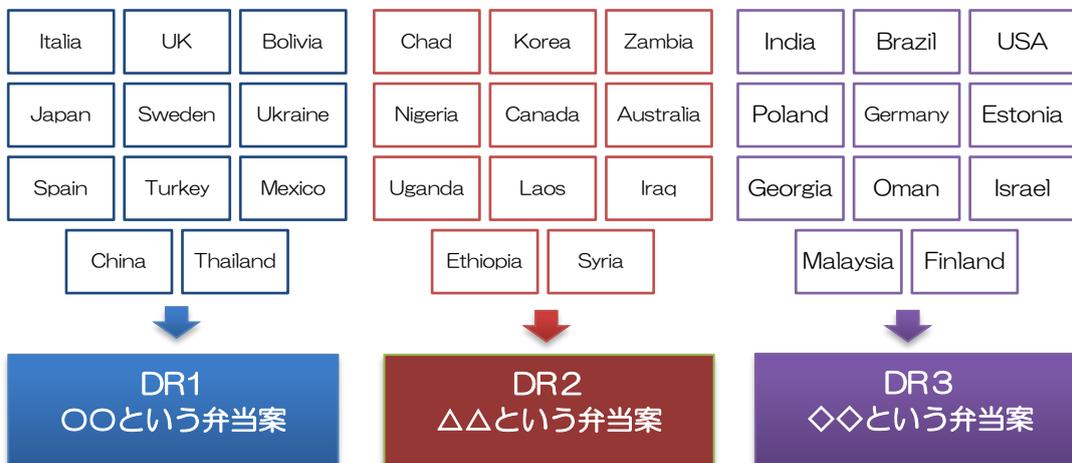
## 2-3 交渉の流れ

それぞれ立場、国益が異なるので一気に全員で話してもまとまりません。ですので、まずは似た立場の国が集まってグループを作っていく、そのグループ内で原案を作ります。事前に共有される資料や当日の議論で、まずどのようなグループで集まるのかを考えるのも各大使の戦略です。

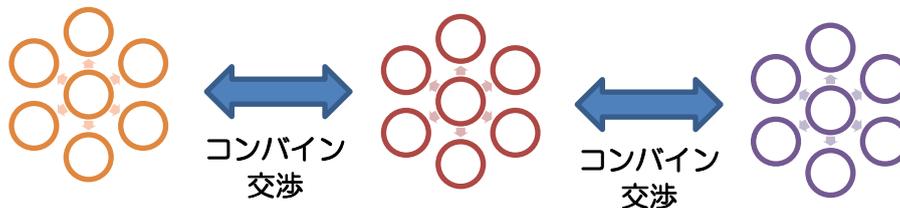
スタートは小さいグループ議論で始まりますが、最後のゴールは「できるだけ大きなDRグループにする、できればコンセンサス（全員一致）の決議案をみんなで協力して作ること」です。みんなで賛成できれば、みんなで足並みそろって課題解決に当たれ、意義があるからです。



STEP 1: 例えば以下のような感じで、立場の似た国で集まって決議案を作ります。



STEP 2: 他のDRと相違点を洗い出し、DRを1つにまとめる交渉をする。  
(DRを1つにくっつけていくことを「コンバイン」と言います。)



### コンセンサスを目指す

国連会議でよく使われる言葉で「コンセンサス<全会一致の採択>」というのがあります。つまり、全ての参加国が賛成できるような決議を目指そうということです。全会一致なんて無理だろうと思われるかもしれませんが、実際の国連会議でも8割がコンセンサスで決まります。国益や考え方の違う全ての国がコンセンサスに至るには当然のことながら交渉、協議も大変です。しかし、世界全体の課題だからこそ足並みそろえて解決できるように、ハードな交渉をあきらめずにコンセンサスを目指すのです。

## Chapter 3： 会議参加ガイド

今回は初心者の皆さんも含めて、みんなで模擬国連という活動を体験し、楽しく学ぶための会議です。通常の模擬国連には「プロシージャールール」という進行ルールがあり、「会議細則」と呼ばれる細かい決まりがあります。しかし、心配しないでください。初心者であっても、中1であっても、何も分からなくても大丈夫です。私たちフロントが、その場で説明しながら、皆さん全員が参加できるようにリードします。私たちを含めて、経験者は、いつもの模擬国連の形式やルールにこだわってしまい、またそれが模擬国連と思いがちですが、模擬国連はもっと自由にやってよいのです。一人一人が国の代表となり、課題を解決しようと話し合う、それが重要なのです。

一方で、皆さんに強くお願いしたいことがあります。積極的に発言し、前のめりで参加してください。そしてぜひ模擬国連を十分に楽しんでほしいと思います。模擬国連は一方通行の学びではありません。参加者みんなで作り上げる活動です。みなさんが積極的に発言、交渉をすれば有意義な会議になります。もちろん、その逆もしかりです。お客さんとして参加する意識は捨ててください。私たちと一緒に会議を作るメンバーだという意識で参加してください。学年、経験関係なく意見を言いましょ。やるからにはガンガンやりました。チャレンジしなければ可能性は広がりませんし、模擬国連の楽しさも分かりません。ぜひ、みんなでよい会議にしましょう。

### 3-1 会議の種類と流れ

#### 3つの形態の会議

公式討議 (フォーマルディベート)	全体の会議の進行やスピーチなどの公式討議のことです。
モデレーティッドコーカス (通称：モデ)	全員が席に座ったまま、議長が進行していく会議です。各国が意見を述べたり、質問をしたりします。いわゆる「学級会の話し合い」をイメージしてください。
アンモデレーティッドコーカス (通称：アンモデ)	議場を自由に動き回り、みんなで自由に議論します。「自由にいろいろな国と話し合ってみてください」という感じです。ここでどのようなDR(決議案)にするのかを話し合い、実際にDRを書いたり、他国と交渉したりします。

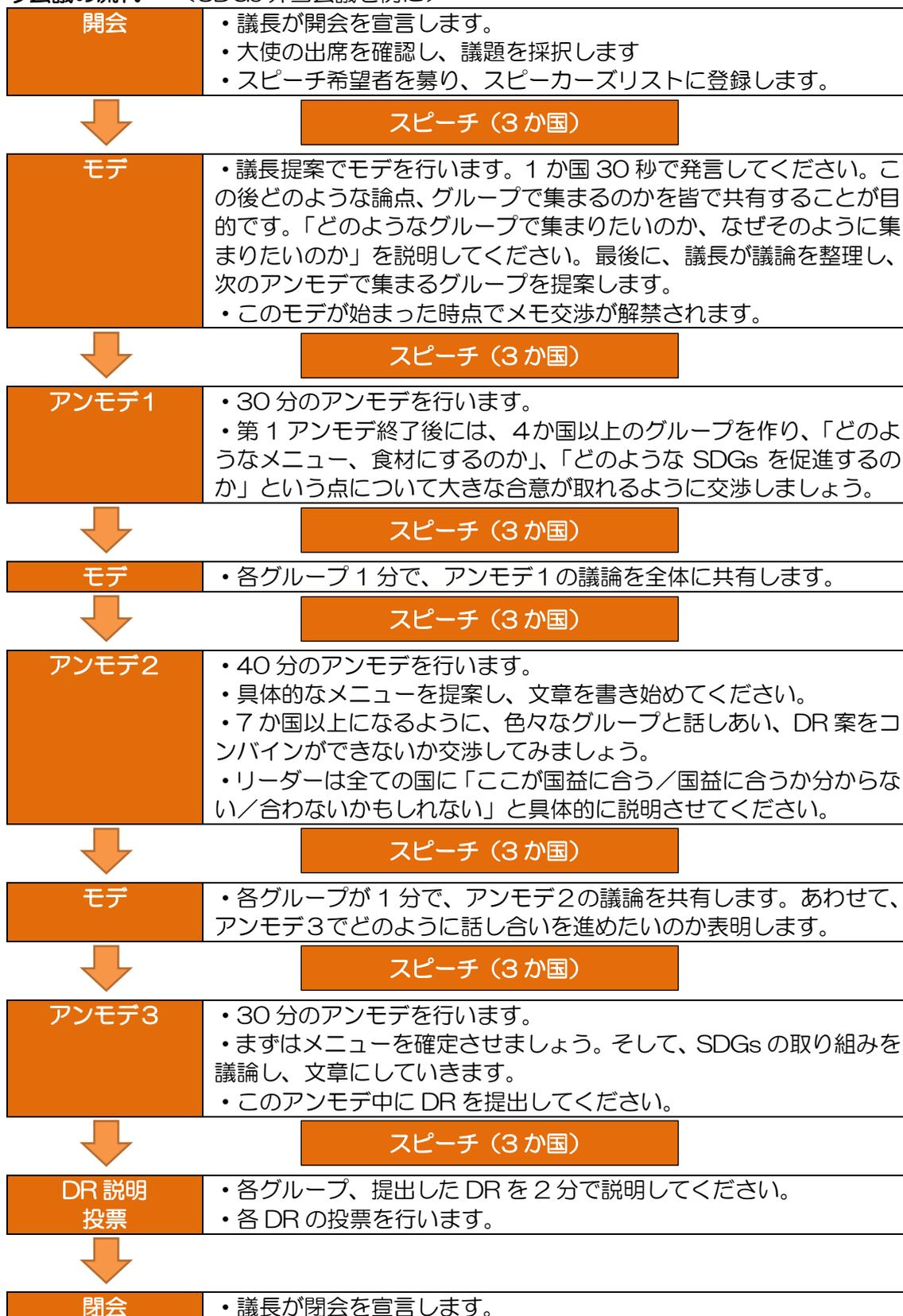
#### モーション(動議)

模擬国連では、大使が「Motion」と言って、プラカードを上げる場面が見られます。次にどのような会議をしたいのかを提案するとき、大使は「Motion」を出すのです。例えば「30分間アンモデをすることを提案します」、「みんなで議論を整理するための話し合いを持つために、15分間のモデを提案します」などです。

と言っても、初めての方はどのような提案をすればよいの?と思いますよね。今回は会議のルールが重要なのではなく、皆さんが積極的に参加し、話し合いができることが大切ですので、会議の形やMotionにこだわらず、フロントが柔軟にファシリテートします。あわせて、経験者の大使に協力をしてもらってMotionも体験してみましょう。



今会議の流れ <SDGs 弁当会議を例に>



## 3-2 スピーチ

国連会議では、「スピーチで、国際社会に自国の考え方、政策を表明する」ことが大使のミッションの1つです。国連会議に参加する以上、スピーチは絶対にやらなくてはなりません。今会議では全ての国にスピーチをしてもらいます。1か国1分以内でスピーチを準備してください。原稿を用意せず、その場で訴えかけてもいいですよ。2人で参加する場合は、1人だけが話しても構いませんが、せっかくなら2人で分担して、みんなが発言できるとよいですね。なお、順番は会議冒頭に決めていきますので、いつ当たるかわかりませんよ。



こんな内容を考えてスピーチを作ってみましょう。〈SDGs 弁当会議を例に〉

- 私たちの国の食文化、農業、畜産業はこのようなものです。
- 私たちの提案するお弁当はこんなものです。
- なぜ、私たちはこのお弁当を提案するのか。  
(自国の国益だけではなく、「このお弁当がなぜみんなを幸せにするお弁当なのか」という国際益を訴えましょう。)
- 私たちがこのお弁当で解決したい SDGs はこれです。
- なぜ、どのようにそれを解決したいのか。

スピーチは次のような言葉で始まります。できる人は、この部分だけ英語で話すことにチャレンジしてみましょう。最後は「ありがとうございました」もしくは「Thank you.」でスピーチを終えてください。

議長、ありがとうございます。大使の皆さん、こんにちは。〇〇大使です。

Thank you, honorable chair, and hello fellow delegates. I am(We are) the delegate of 〇〇。

スピーチの際に意識をすること

- このスピーチで、自分たちの提案を他国に納得、共感してほしいのです。説明する、ただ話すのでは意味がありません。このメッセージを届けたいという思いで語りかけましょう。
- 皆さんは国の代表です。そして国連という晴れ舞台です。メディアも取材に来ています。大使として恥ずかしくないように堂々とスピーチをしましょう。
- 他国のスピーチは敬意をもって聞きましょう。スピーチの間は私語もダメ、作業もダメ、メモ回しもダメです。他国の大使が話している間にそんなことしたら国際問題になっちゃいますよね。スピーチの最後は、拍手をして敬意を示してください。

### 3-3 メモ交渉

模擬国連では、メモを送りあって交渉をします。実際の国連でも電話やメールなどで大使同士がやり取りをして水面下の交渉をするのですが、それをメモという形で再現していると思ってください。メモ用紙は当日フロントでも用意します。もちろん自分でお気に入りのメモ用紙を持参しても構いません。



今回の会議では全員メモ回しを体験してもらいます。一番初歩的なメモは「(〇〇というところが似ているので) この後一緒にグループを組みませんか?」というメッセージです。そのメモを書くためにも、事前リサーチや会議前に共有される資料を読んで、どの国と一緒にグループを組みたいかを考えておいてくださいね。メモ回し開始のタイミングはフロントから指示します。

### 3-4 決議案：DR (Draft Resolution)

会議のゴールは「国連としての決議を出すこと」です。そのために、各大使が、自国の国益と国際益を考えた「DR」と呼ばれる決議案を作ります。作業は、あらかじめ渡してあるDRフォーマットを使用してください。

実際の会議では、書式があり、前文、主文などといった書き方があります。しかし、最初は細かいことにこだわらず、論点ごとに提案をまとめてください。

ただし、それぞれの論点が分からなくなってしまうので、1つの文章ではなく、箇条書きでまとめてください。ただ単にメニューや解決策を書くのではなく、「なぜ」という理由と「どのように」という手法も書いてください。数値なども含めて具体的に書けると良いです（例：CO<sub>2</sub>排出を2030年までに今より10%削減する、売上金の5%をUNICEFを通して発展途上国の子供たちに支援する、など）。

#### スポンサー

DRの提出国を「スポンサー」と言います。DRにもスポンサーをアルファベット順に記します。DRは1か国だけでは出せません。一定以上のスポンサーが集まらないとDR自体が提出できません。その国数の条件を「スポンサー条件」と言います。



### 3-5 DR投票

DRが提出されたら投票を行います。過半数以上の賛成を得られれば正式に決議として採択されます。国連総会では人口や経済力に関係なく全ての国が等しい1票を有します。しっかりDRを理解し、国益とすりあわせて、国のために世界のために責任を持った1票を投じましょう。

#### 投票方法

今会議では以下の2つの投票方法を取ります。正式な模擬国連では、どの投票方法にするのかを決める手順もありますが、この会議では自動的に以下のようにします。またロールコール投票では、Abstention（棄権）、Pass（パス）といったものを認めずに、YesかNoのみにします。

ロールコール投票	<ul style="list-style-type: none"><li>・アルファベット順に国名を呼び、賛成か反対を聞いていきます。議長が国名を呼ぶので、YesかNoのどちらかを答えてください。</li><li>・DRが複数提出された場合、DRが1つしか提出されていないが過半数のスポンサーに達していない場合にこの投票方法を採用します。</li></ul>
コンセンサス投票	<ul style="list-style-type: none"><li>・議長が「このDRに反対する大使はいますか？」と聞き、反対する大使はプラカードを上げるという方法です。</li><li>・提出されたDRが1つで、スポンサー数が過半数以上を満たしており、決議採択が明らかな場合。</li></ul>



～ たかが模擬国連 … 私の理想の模擬国連 ～

たかが模擬国連。たかが模擬です。どんなに頑張っても、どんなに良い政策を考えても、そしてどんなに充実した会議行動をとれたとしても、、、しょせん模擬。良い決議案を採択し、あたかも課題を解決したつもりになっていたところで、外に一步出てみたら何1つ変わっていない。社会課題どころか、道路に落ちているゴミ1つ拾われていない。結局、ただの自己満足にしかすぎないのか。

こんな思いに駆られた経験がある人もいないのでしょうか。「たかが模擬国連」、確かにそうなんです。でも、今後の世界を担う皆さんが一生懸命会議に取り組み、色々考えて、悔しい思いもして、結果云々に関わらず充実した時間を送ったら、会場を出るときに未来が一步だけ良い世界に向かっている、、、これが私の理想の模擬国連です。だからこそ、賞の有無に関わらず、一人一人が「より良い世界を作りたい」という熱い思いを持って、自ら成長課題を設定し、自分の大切にしているものを追い求められるような会議であってほしいと思っています。

模擬だっていいじゃないですか。高校生なりに試行錯誤して動いていることには変わりありません。「こうしなくちゃ」、、、、思うだけで、批判するだけで何もできない大人は腐るほどいます。どんなに良い考えも、どんなに高い問題意識も自分の中だけでしまっていては何も起こりません。口だけで行動に移せなければ何も変わりません。でも、皆さんは、それが模擬であろうが少なくとも会議として実際に行動に移しているわけです。まだ粗いかもしれないし、未熟かもしれないけど、仲間と語り合い、理想と熱い思いを形にしようとしているなら、きっとそれは皆さんの未来のアクションにつながっていくことでしょう。

今は模擬でもいい。焦る必要はありません。若いうちにそのエネルギーにたくさん触れ、自分の見ている世界をもっと広げてほしい。みなさんの可能性は模擬という枠に収まりきらないほど大きなものだと思っています。どんな小さなアクションでもいい。必ず本物のアクションにつながる時が来るはずですよ。

だからこそ、一人でも多くの人に模擬国連を知ってほしいし、体験してほしい。その思いで、本校で模擬国連をゼロから一緒に立ち上げた卒業生とこの SDGs 弁当会議を作りました。私たちの思いが皆さんに共有され、「よりよい世界」の種が広がることを祈っています。

大津中学高等学校  
模擬国連顧問  
関 孝平

## 参考資料

<関先生の資料、HP>

Max Classroom.net

[www.maxclassroom.net](http://www.maxclassroom.net)

中高生 & 教育のための模擬国連ガイドブック

<その他の模擬国連のHP>

Japan Model United Nations

[jmun.org/about/whatsmun/](http://jmun.org/about/whatsmun/)

### ～この冊子の利用について～

私たちは模擬国連に出会い、多くの学びと刺激、そして仲間を得て、自らも大きく成長できたと感じています。『想像以上に君は変わる』、『Be the First Penguin（海に飛び込む最初のチャレンジャーになろう）』という2つの合言葉をもとに私たちはたくさんの挑戦をしてきました。この度、私たちは、高校卒業に際して、自分たちの挑戦の証を次世代に残し、つなげていきたいと思い、卒業記念として最後のチャレンジに挑みました。「一人でも多くの生徒に模擬国連を体験してもらい、自分の可能性を広げてほしい」「模擬国連を通じて、世界に目を向けて、『よりよい世界』を考えてほしい」、その願いを込めてこの議題解説書を作成いたしました。

また、2018年に始まった大妻模擬国連は他校の皆さんに導かれ、ご支援をいただいて今日まで成長することができました。これまでの私たちの模擬国連を思い返すと、全ての場面に学内外多くの皆さんの存在があり、感謝の念が尽きません。これまでいただいたご厚意とお力添えを今度は私たちが次世代に返し、つないでいく番だと思っております。

この冊子が少しでも模擬国連に取り組む方々のためになるのであればこれ以上に嬉しいことはありません。もしこの冊子を活用あるいは参考いただけるのであれば、著作権を気にせず使いやすいように自由に編集していただいて構いません（他校・学外でご使用になる場合は、本校名、私たちの名前やメッセージ、写真も消してご活用いただくことも問題ございません）。

私たちの思いが一人でも多くの方に届くことを願っております。

大妻模擬国連 2020年度卒業生 有志一同